

最近の活動報告

植林・交流会と共に協力プロジェクトを推進

8月26日から9月4日まで、学生3名を含む10名が、**Phyauk Seik Pin** 村を訪問し、1020本の苗木を植林しました。MJET の今年の植林ツアーは次のような特徴がありました。

● 3大学から3名の学生が参加

今回は、茨城大学、立命館大学、麗澤大学の3大学から3名の学生さんが参加しました。また、社会人も水文学や経済地理に加えて国際機関や日本の援助機関の職員と OB といった多彩な職業のベテランが参加されました。今年は予定していた大学の学生さんが日程の都合で参加できなくなり、少数精鋭の参加となりましたが、ベテランと学生という組み合わせで、ツアーの道中でいろいろなお話しが聞けて、学生さんにとっても大変有意義な機会となりました。また、初めてミャンマーを訪問する参加者もいて、心配されましたが、一人の病人もなく、全員大いに楽しむことが出来ました。



ヤンゴンの僧院での参加者 踊りを披露する日本語教室の学生と僧院の子供達

● Phyauk Seik Pin 村で1020本を植林

Phyauk Seik Pin 村は、バガン地方では比較的大きな村で約330所帯、1,676人の村人が住んでおり、小学校には幼稚園と4年生まで166人が在籍しています。8月30日、学校のキャンパスの外の空き地に、50~60人の生徒と約50人の村人が参加して1020本の苗木を約4時間で植林を終えることができました。



ブリーフィングを聞く村人

苗木を運ぶ子供達

植林する参加者と子供達

● エキサイトした **Phyauk Seik Pin** 村と **Chaukkan** 村での交流会

今年の交流会では **Phyauk Seik Pin** 村で演芸会を **Chaukkan** 村で運動会を行いました。**Phyauk Seik Pin** 村は交流会が初めてなので、少し戸惑いがありましたが、MJET 参加者の熱の籠ったいろいろな出し物に大変喜び、最後はジェンカのダンスを村人みな

が参加して大興奮のうちにお開きになりました。



他方、Chaukkan 村では、運動会は全く初めてのことで、やって見るまで何をするのかわかりませんでした。全校生徒280名の内、108名が紅白二つのチームに分かれて、玉送りの後に続いて二人三脚リレー、皿回しリレー、電車リレー等、お玉ボール運びリレーの4種目に皆が競争して走るのが面白く、「がんばれー」、「がんばれー」の声援が飛び、興奮し、熱中しました。子供達が参加する運動会は、今後も交流会の目玉の一つとして、続けていこうと思います。紅白の鉢巻が敵味方を区別するので、自分のチームが勝つように、必死で応援も行いました。学年別に参加種目を分けて、皆が整列するのが大変でした。先生方も初めてのことで生徒を整列させるのが一苦勞でした。また、最後のお玉ボール運びリレーでは先生がゲームに参加して走ったので、生徒たちは一様に大きな声援を送りました。今後、さらにゲームを工夫して学校全体の運動会に発展してくれることを願っています。



運動会で入場する生徒



二人三脚リレー



電車リレーで走る紅組と白組



玉送り



お玉ボール運びで走る先生



最後は皆で踊るジェンカ

● 協力プロジェクトを推進

植林ツアーの他に3つのプロジェクトがスタートしました。

◆ゴミ収集・処理プロジェクト（インダイン村の美化キャンペーン）

インダイン村では家庭のゴミを清掃すると共に、村の入り口近くのゴミ箱に集め、定期的に指定された場所に埋める「インダインモデル」が始まりました。学校でも環境教育が始まり、燃えないゴミを埋めるもう少し大きな穴を設置すれば完成です。間もなく、このモデルを近隣の村々に普及する計画です。



村の3か所に設置されたゴミ箱



ゴミ焼却場



美化委員会のメンバー

◆ 小学校の環境教育を実習

Thant Sin Kyaе 村の第28小学校において、3年生の教科書に沿った理科の実験に必要な試験器具を寄贈して、二つのモジュールに沿って、「環境教育」の実習を行いました。

☆モジュール1：タンシンチェ村の地図を理解する

マグネットボードに貼られた村の地図の上に、村の建物、自分の家、動物、池、森等を模したマグネットのついた木型や絵を貼り付けて、村の地図を理解しました。村人が困っているのは雨が少なく、水が足りないことでした。

☆モジュール2：水の性質を理解する

実験1：水は温度によって形が変わる

生徒は水の温度が零度以下では氷になり、0～100度の間は水となり、100度を超えると水蒸気になることを理解しました。

実験2：水は形の違った容器に入れても、その量は変わらないことを理解しました。

実験3：水はいろんな物を溶かす性質があることを、角砂糖、塩、ケチャップを溶かして理解しました。



水の温度を測る女生徒



ケチャップが溶ける



授業は面白かった！

◆ ネリカ米の試験栽培

Thant Sin Kyaе 村では、昨年度にネリカ米の N3を 1 1 農家が自分の畑 (5mx5 m) に試験栽培しましたが、播種の時期が遅かったため、枯れてしまいました。そこで、今年は、昨年参加した1農家が N3の種子を自分で栽培することになりました。今年は雨が多く、7月末と8月初めに播種しました。MJET が訪問した時は丁度1カ月が過ぎた頃で、苗が20cm 程度に育っていました。この11月初めには収穫できることを期待しています。

